

第26回 スカイスポーツシンポジウム プログラム

主催: 日本航空宇宙学会

共催: 日本航空協会

協賛: 日本気球連盟, エクスペリメンタル航空機連盟, 日本航空機操縦士協会, 日本滑空協会,
日本模型航空連盟, 日本ハング・パラグライディング連盟, 日本マイクロライト航空連盟,
日本パラモーター協会

後援: 読売テレビ 企画: スカイスポーツ委員会

開催日: 令和3年11月27日(土)

会場: Cisco Webex Meetings を利用したオンライン開催, X-NIHONBASHI TOWER studio

参加登録: 学会ホームページから事前登録(11/22 開始予定), 参加登録料無料

講演集: 参加登録後にダウンロード

問合先: 日本航空宇宙学会 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-21 近三ビルディング4階

TEL(03)6262-5313 FAX(03)6262-5314 <https://www.jsass.or.jp/>

11月27日(土)

時刻	
12:30 ~12:40	日本航空宇宙学会会長挨拶 河野 功 (JAXA)
企画セッション1(OS1) スカイスポーツの新たな挑戦 オーガナイザ&司会: 米田 洋(帝京大)	
12:40 ~14:10	A01 アジア大陸記録(グライダー)の樹立と日本国内記録の新設(要望) ○市川博一(日本滑空協会)
	A02 "Virtual な世界で空を感じる。"スカイスポーツを eSports として楽しむ。 ~Condor, the Complete Soaring Simulator~ ○武市直己
	A03 全日本学生室内飛行ロボットを開催してきて ○土屋武司(東大院)
14:10~14:25	休憩
企画セッション1(OS2) ソーラー機への挑戦 オーガナイザ&司会: 新井啓之(東海大)	
14:25 ~15:45	A04 24 時間飛行可能な小型固定翼 Solar UAV の開発 —機体規模策定— ○福地亮太, 川名勇太, 中谷俊介, 加藤宏基(飛行機研究所)
	A05 24 時間飛行可能な小型固定翼 Solar UAV の開発 —推進機器選定— ○川名勇太, 中谷俊介, 福地亮太, 福島綾音, 加藤宏基(飛行機研究所)
	A06 24 時間飛行可能な小型固定翼 Solar UAV の開発 —概念設計— ○中谷俊介, 福地亮太, 川名勇太, 福島綾音, 加藤宏基(飛行機研究所)
	A07 24 時間飛行可能な小型固定翼 Solar UAV の開発 —制御ゲイン調整— ○福島綾音, 加藤宏基, 大山尚悟(飛行機研究所), 橋本 武憲(スペースエンターテインメントラボトリ)
15:45~16:00	休憩
一般講演 模型飛行機・滑空機 司会: 松崎真也(日本航空協会)	
16:00 ~16:20	A08 フリーフライト模型グライダーのハイスタート発進の解析 ○滝 敏美, 町田 光生(ナスカ)
16:20 ~16:40	A09 おりがみヒコークの経験とペーパーグライダーの学習効果に関する考察 ○小松秀二, 武内真依子(NPO紙飛行機サイエンス)
16:40 ~17:00	A10 極めて低高度から飛び立つ滑空機の滑空距離を最大にする機体重心位置と水平尾翼取付角の最適化に関する一考察 ○酒井英倫(松島屋酒井科学技術研究所)
17:00~17:15	休憩
一般講演 人力飛行機 司会: 草谷大郎(産技高専)	
17:15 ~17:35	A11 人力飛行機用推力測定器の作製 ○桶田 啓, 石川智己(Team 'F')
17:35 ~17:55	A12 人力飛行機におけるピッチ自律安定カナードについて ○山中泰貴, 石上 歳人(早大)
17:55 ~18:15	A13 操縦者—飛行機システムについての考察 ○麻生芳男
18:15 ~18:25	スカイスポーツ委員会委員長挨拶 飯野 明(エクスペリメンタル航空機連盟)